

「金曜行動」100回目

県庁前で脱原発訴え

毎週金曜日に福井市の県庁前交差点で脱原発を訴える「金曜行動」が十三日、百回目に達した。雨の中、嶺南からも多くの人が駆けつけ、百五十人近くが集合。子どもが駆け回る和やかな雰囲気、「再稼働反対」「子どもを守る」と主張した写真。市民や弁護士、大学教授も参加。五月二十一日に福井地裁が大飯原発の運転差し止めを命じた判決を称賛し、「判決は非科学的ではない」「原発が必要だ」というのは神話だ」と演説した。ギターの伴奏に合わせ



レイアウト・田中 洋和

て「国中の原発が止まったけれど、停電にならない」「原発はいらない」などと歌った。

福井市の会社員ヤング・有希子さん(四四)は、昨年末から六歳の息子と参加。「福井から原発をやめる、くらいの気持ちでやってきた」。世話人の林広員さん(五三)は大勢の参加者を見て「呼び掛けが広がった」と喜び、「今後、皆さんの声を集めた広報紙も作れたら」と先を見据えていた。

(鈴木あや)